

「活動報告書」掲載一覧 令和8年3月～5月

カニ漁解禁でお誘い

—

石川県

会社役員

カニ好きって仰るので解禁に合わせてお誘いしました。「羽田」から「のと里山空港」への便を利用して輪島へ。

11月6日に空港までお迎えに行き、8日には「加能ガニ」と「香箱」を漁師さんから直接購入。

11月9日に「のと里山空港」から帰るまで「カニ」を堪能し、更に輪島から「加能ガニ」2杯、「香箱」4杯をお買い上げでご自宅へ宅急便。



金沢の春、桜

寺崎 裕彦

富山県

会社員

関西と富山の知人を桜咲き誇る金沢へ。家の近くの歴史ある小さな公園の雄大な桜をはじめ、金沢城、そして兼六園を案内しながら素敵な桜景色を堪能しました。

この日のために勉強した公園の歴史、金沢城の石垣の学術的価値、そして兼六園のこじり灯籠について、なぜこの様な形になったのかも先のテレビ番組の受け売りですが、学んでご説明致しました。美しい金沢の春に案内した知人たちも非常に感激しておりました。



知らない金沢を知る旅

亀和田 俊明

東京都

財団法人理事

地方創生絡みの仕事で一緒に知人と福井県に住むその元同僚夫妻をアテンドする形で、2月13日～15日にかけて、初めて行かれる場所を中心にご案内しました。私の名刺のコピーが“歴史と文化と自然に彩られた美食のいしかわ”なので、それらの魅力が感じられる金沢の街をご紹介します。

まずは『歴史』のキーワードでは、北前船の寄港地として栄えた大野・金石地区を訪ね、醤油蔵や町家が連なる情緒ある街並みや路地を歩き、ヤマト醤油味噌を訪ね靴パークを見学し、発酵について学ぶとともに発酵食品を味わうことも。散策のなかで眺めた霊峰白山も絶景で驚かされていました。

続いて『文化』では、国立工芸館で開催中の石川県ゆかりの作家を中心とした「工芸と天気展」と「ひと、能登、アート」で、石川の天気のもとで育まれた工芸作家たちの表現を愉しんでいただくことができましたほか、世界的な建築家である谷口吉郎・吉生親子の「金沢建築館」では、建築の街としても見るべきものが多い、金沢の建築物の一端にも触れられ、改めてその魅力に気づいていただいたようです。

そして、『食』では、石川の魚介を握ったお寿司に始まり、加賀野菜や能登の食材などによる居酒屋のメニューにも舌鼓をうっていただきましたが、老舗料亭「つば甚」の朝食「かに粥」には幸せな時間と贅沢な食事を堪能され、大変喜んでいただきました。

朝食の前には宿泊した東急ホテルの裏手にある武家屋敷から尾山神社を通り抜け、復元された鼠多門橋、鼠多門を経て玉泉院丸庭園からホテルに戻るお勧めの40分ほどの散歩コースは心地よい目覚めの時間を過ごしていただいたようです。

一緒に皆さんには「知らない金沢を知る旅」となったようで、今後、お友だちの方々にも紹介したいと話されていました。引き続き、金沢、石川の魅力を発信したいと思います。



信州きもの古着市場 2026

篠原 淳

長野県

会社経営

2026年2月10日から12日 長野市もんぜんぶら座ホール 500 畳で、能登半島支援チャリティー古着セールを開催。きもの古着 3000 点を全国から集め、大変大賑わいでした。

500 名様へいしかわ観光を PR しました。義援金は日本赤十字 毎月へ預託しました。

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/gf01d663udp2b72q97gli7g0>

石川県への観光誘客

前川 浩之

神奈川県

① 義母と妻

義母が金沢への『美味しいものの旅』に興味があったため、昨年12月に妻と共に金沢を訪問した。

まず、観光タクシーでひがし茶屋街や尾山神社を散策、フルーツパーラーで果物を満喫。夜は、石川名物の加能ガニやのどぐろを堪能。

義母は、大変満足し、特にのどぐろの塩焼きが気に入った様子。

是非とも再度訪問したいとのこと。



② 元部下のご家族

かつての部下から母親と妹の3人で旅行を検討との相談があり、石川に誘客。

金沢の観光名所と飲食店を紹介。

石川訪問後の感想は、特に海鮮などの食べ物に感動、どの飲食店も親切で是非再訪したいとのこと。



③ 私の石川訪問

昨年度は、6月、9月、12月、2月に訪問。

その都度馴染みの店に寄らせて頂き、石川の味覚を堪能いたしました。

第二弾 能登半島復興応援ツアー

江上 美穂

東京都

英語教室 代表

震災から2年経過しても尚復旧途上の能登半島の惨状を広く知っていただくための被災疑似体験ツアーを定期的に開催している。ツアー参加者は、外務省職員、横須賀市議2名、軍事ジャーナリストと私の計5名。

今回は、金沢市の防災施設、宝達志水町、のと里山空港の施設も職員の説明とともに見学した。

半島で起きた震災は、交通のマヒを誘発し大惨事に繋がりがやすく、三浦半島を抱えている横須賀市議にとり、大変参考になったようである。また、百聞は一見に如かずで、復旧途上の現状を肉眼で見ると、その悲惨さが伝わりやすい。この体験を更に拡散していただくために、色々なシンポジウムも都内で併せて開催予定である。

石川県特産品の送付による誘客につながった PR 活動

高井 寧香

石川県

フリーライター

県外在住の友人に、石川県の特産品を活用したPR活動を行いました。石川県の菓子や加賀棒ほうじ茶ラテ、とり野菜みそなどのお土産を送り、自宅でも石川県の味を楽しんでもらえるよう工夫しました。実際に商品を手にとって体験してもらうことで、石川県の食の魅力をより身近に感じてもらえればと思っています。

その後、石川県が好きな友人から家族での訪問希望の連絡があり、2026年3月に実際に足を運んでいただくことになりました。

お土産を通じて石川の魅力伝えたことが、実際の訪問につながったことは、とても嬉しい結果でした。物産と観光が自然につながった事例として、今後も続けていきたい取り組みです。

「活動報告書」掲載一覧 令和8年3月～5月

ブログでの観光 PR

山崎 英樹

石川県

自営業

○奥能登被災地で新規開業した観光・レジャー施設のブログ掲載

奥能登の被災地、鳳至郡穴水町で新規開業した飲食店舗「アミカフェ」と、それを含むコミュニティ施設「穴水町多世代交流センター amiza (アミザ)」がオープンしましたのでブログにて案内いたしました。地域密着型複合高齢者施設とコワーキングスペース、子育て支援施設、カフェレストランで構成される総合施設で、もちろん他の地域の方でもご利用いただけます。

能登半島地震から復興途上の奥能登被災地の皆様にとって貴重な集いと憩いの場になるだけでなく、遠方からでも「いま行ける能登」の新たな拠点に加えていただけます。

○「中谷宇吉郎 雪の科学館」リニューアルオープン！

2024年元日に発災した能登半島地震によって被災した「中谷宇吉郎 雪の科学館」が一年の復旧期間を経てリニューアルオープンし、早速訪問してブログにてレポートいたしました。

中谷博士の雪と氷の研究の足跡に触れられるほか、体験コーナーも以前と変わらず充実しています。

白山と柴山瀧を眺めながら大人も子供も知的に過ごしていただける石川県と加賀市を代表する貴重な場所。石川県民はもちろん世界中から多くの方に訪問していただきたい施設です。



石川県紹介Instagram発信

—

石川県

自身のInstagramアカウント（フォロワー数約700名）にて、県外を含む不特定多数を対象に石川県の観光資源を発信しました。

10件のリール投稿を行い、4月11日には「能登さくら駅（のと鉄道・能登鹿島駅）」では397ビューの閲覧、5月16日の「石川県立航空プラザ」では243ビューの閲覧を記録するなど、視覚を通じた誘客促進に努めました。

また、取材についても千田家庭園や石川県銭屋五兵衛記念館をはじめとする県内20箇所程度を精力的に行いました。

今後も四季折々の石川の魅力を継続して紹介し、さらなる認知度向上と誘客に貢献します。

